



ました。

町会連携、戸別訪問で増員中

東京都八王子市 狹間福楽会

- 会員数 89名（男性41名、女性48名）

狹間福楽会は八王子市の西南部に位置し、人口1000名くらいの狹間町会で活動している単位クラブです。昭和47年に「狭間老人クラブ」として設立されて43年、その間平成11年には会の名称を「狹間福楽会」と改称して現在に至ります。名前の由来は、町にある真福寺と高樂寺という二つのお寺から名前の一字をいただきました。先人の皆様の時代を先取りした知恵と努力に感謝しております。

平成26年に全老連で今後5か年における「100万人会員増強運動」が提案されました。それを受けて八王子市シニアクラブ連合会でも1686人を目標とする運動が展開されています。私たちのクラブでは役員会にて検討した結果、5か年で会員増50名を目標に掲げ、

全員で強力に推進しました。

運動目標50名を設定

平成26年当初の会員数は73名（男34名、女39名）、年齢63歳から96歳の会員が加入、平均年齢79・6歳です。年齢構成は75歳未満が17名、75歳以上が56名です。高齢化が進むとともに会員が減って、若い会員がなかなか集まりにくくなり、次世代を担うリーダーの育成が急務になっていました。

会員増強運動の目標は純増50名。内訳は、初年度の平成26年度は20名、27～30年度の4年間は毎年10名と自然減もみこんで少し加え

第一段階では町会と連携して、町会の回覧に会員募集案内を添付しました。内容は、狹間福楽会の現状を訴え、当会の魅力を説明して、町のお年寄りがいつまでも安心して元気に暮らせる町づくりをするために皆さん之力が必要であると訴えました。

回覧の中には、次のような文言をいれてアピールしました。

- ①地域にたくさんの仲間が出来ること。
- ②いろいろな活動をしているので、自分に合った活動や同じ考えを持った仲間を見つけること。

神社や町会館の清掃、一人暮らし会員の

町会回覧でアピール、全戸を回り対象者に説明

見守りと慰問、雑巾を縫い施設に寄付等の地域貢献活動。健康ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、輪投げ等の健康づくり・介護予防活動。またカラオケ、芸能大会、バス旅行、誕生会、新年会、手芸等の生きがい活動で、奉仕活動やレクリエーションを通じて、多くの仲間が元気に活動していること。

③長年培つた知識や経験を地域や仲間に還元することで、やりがいや生きがいにつながること。

④八王子市には多くの老人クラブがあり、各クラブが集まつた連合会組織があることから幅広い交流ができること。

初年度20名の会員が加入

上記のような取り組みの結果、20名の目標達成が出来ました。75歳以下の会員が19名増え、平均年齢は76・3歳に下がりました。回覧で募集した2か月間で13名、個人的に誘つた人は7名でした。この方法が一番効果があると思います。

27年度は、個人的に会員を募る方法を第一

に実施しました。その中で狹間福楽会はどんな活動をしているのかという質問が多く出ましたので、毎月発行している会報を町会の回覧にのせました。それを見て入会を希望する人もあり、これまで18名の希望者がありました。

役員一同、頑張った甲斐があつたと喜んでおり、張り切っています。これからも会員を増やして、みんなで助け合い、見守り合いながら町会の皆さんと力を合わせ、役に立つクラブとして地域の発展に寄与したいと考えております。

（会長 鈴木長一）



誕生会の様子



輪投げを楽しむ



雑巾縫いをする昔のお嬢さんたち



健康ウォーキング実践中